



学校だより

平成29年8月28日

9月号

横浜市立あざみ野第一小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/azamino1/>

045-902-7151



心に平和の種を

校長 藤馬 直子

38日間の夏休みが終わり、明るい元気な子どもたちの声もどってきました。

今年の夏は雨が多く、不安定な天気が続き、毎日のように、局地的な大雨の様子が報道されました。皆様の中には、郷里が被災された方もいらっしゃるのではないかと思います。心よりお見舞い申し上げます。

天候不順な夏でしたが、「青葉区水泳記録会」が行われた7月31日（月）は、夏らしい青空が広がっていました。あざみ野第二小学校を会場に、黒須田小学校を加えた3校の子どもたちがそれぞれ自分のベストタイムを目指して、力いっぱい泳ぎました。自己ベスト、若しくは自己ベストに迫る好記録の続出となりました。また、今年からプールに入ってからスタート（飛び込みをしない）に統一されたため、どのレースも一位の記録は、新記録ということになりました。そして、この日の記録を基に、本校は2名が選手に選ばれ、8月24日（木）横浜国際プールで開催された「横浜市水泳大会」に出場しました。二人とも、素晴らしい力を発揮してきました。

ところで、夏休み最初の土曜日に行われました「夕涼み会」（PTA主催）は、今年もたくさんの方々にご参加、ご協力いただき、大変楽しいものとなりました。担当の皆様には、何度も何度も検討をしながらご準備いただき、本当にありがとうございました。子どもたちの笑顔が溢れる素敵な一日となりました。重ねて感謝申し上げます。

話は変わりますが、『みどりのゆび』というお話をご存じでしょうか。こんなあらすじです。大金持ちの両親の元に生まれた男の子チトは、「みどりのゆび」を持っている特別な子どもでした。「みどりのゆび」は、世界中のどんな場所にでも花を咲かせることができる不思議な指です。「花って災難が起こるのを防ぐんだよ。」とチトは言いますが、父は兵器工場を営んでいました。チトは、完成した武器に種を忍ばせ、弦を絡み付かせました。そして、花で戦争を止めました。その後、「我が子を受している。なのに、孤児を生み出す大砲を作るのは矛盾している。」と気が付いた父は、花を育てる事業に転換して街を潤すのでした。これは童話ですが、愛する家族を大切にするという気持ちと、他人の犠牲や不幸の上に自分の幸福を築かないという信念を融合させることが、平和の礎を築くことにつながると教えてくれているように感じます。他者に対して、これまで愛し育ててくれた親や兄弟、かわいい我が子のように思えば、そこに温かな心の交流が生まれ、人生も豊かになるということでしょう。私たちは、チトのように不思議な指はありませんが、自他共の幸福を築いていくため、一人ひとりの心に平和の種を蒔き、大切に育て、花を咲かせていきたいものです。